

IBM(Lenovo を含む)のノートパソコン Thinkpad には Access Connections が自動的に組み込まれます。この機能は PC を移動して使い場合には非常に使い勝手良いプログラム機能です。ビジネスマンが駅構内や特定の無線 LAN を公開してある場所でメールの確認などしているのを見かけるものです。ついどんな PC を使っているのかと興味が湧いて、のぞく癖があつてみてしまいます。キーボードの真ん中に赤いマークがあると Thinkpad だなとニヤリとしてしまいます。

自宅の有線 LAN のみで使用する場合には特に必要ありませんので、コントロールパネルからこのプログラムを削除しても構いません。

## Access Connections の設定

デスクトップ右下の Access connections アイコンを左クリックし、「Access Connections の起動」をクリックします。

起動したら、次の図が表示されます。

この画面はバージョンが最新のものです。また、初めて表示したときは、ベーシック表示のはずですので、切替を[アドバンス] に切り替えてください。



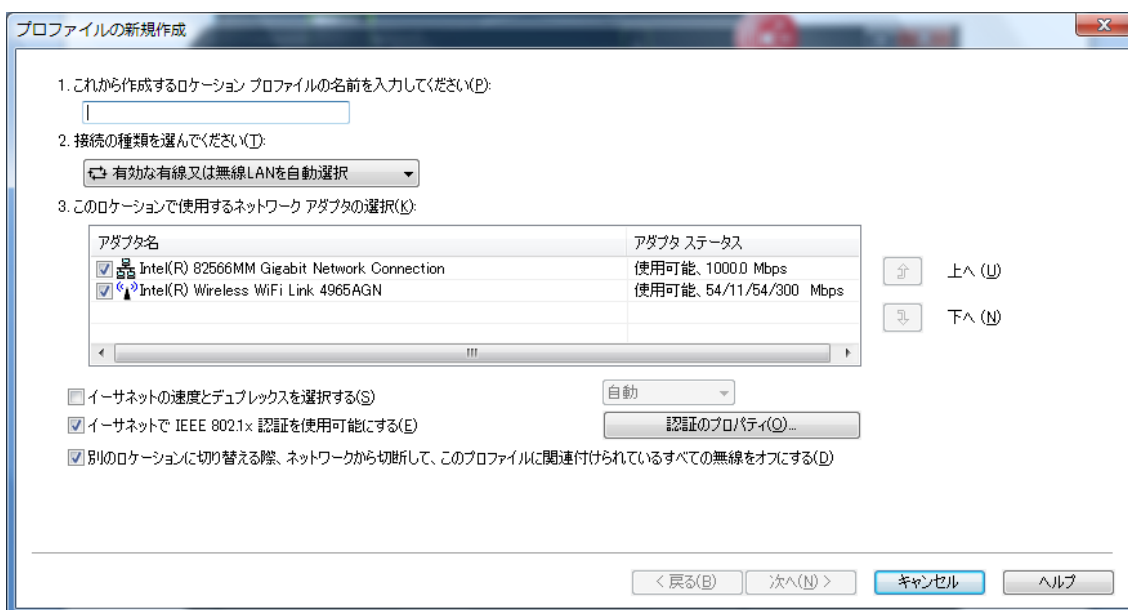
「プロファイル」タグをクリックして、次の画面を開きます。

私の場合は自宅のルーターが 2 個と無線アクセスポイントが 1 個、と他所のルータと無線アクセスポイントそれぞれ 1 個の計 5 つの接続プロファイルを作成して、それぞれの接続方法のひとつを選んで使用しています。

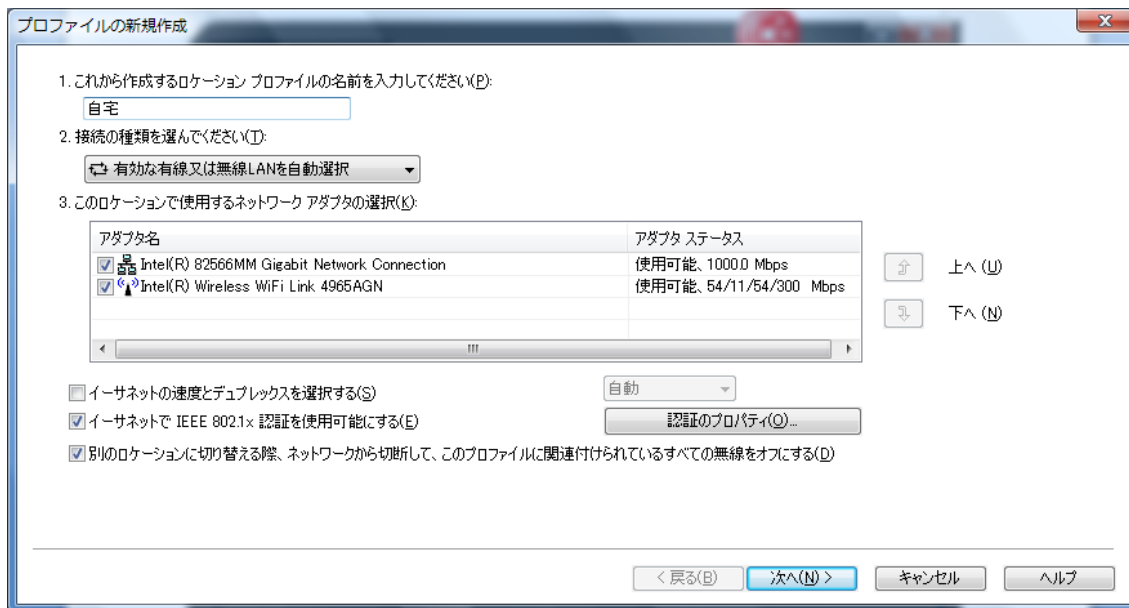


もし、この図を開いたときに一つでも登録があれば、それを選択して「編集」ボタンをクリックして設定情報を確認します。必要に応じて修正して使用します。

登録がない場合には「作成」をクリックして新規に作成します。

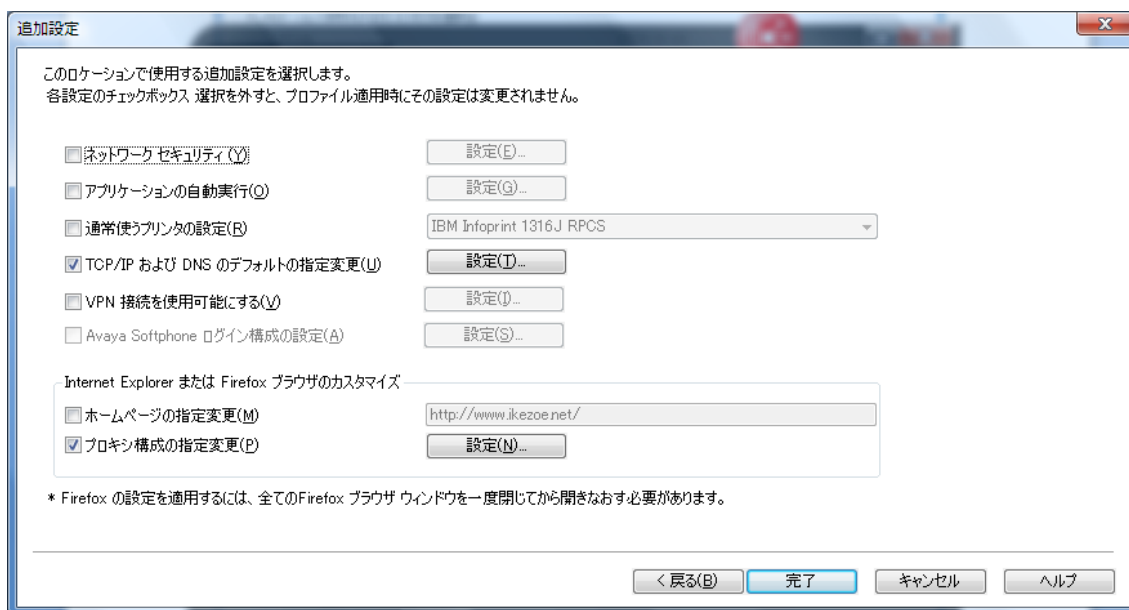


ロケーションプロファイル名には、例えば「自宅」などと分かりやすい場所名を入力します。ネットワークアダプターの選択は特になにもしませんが、自宅の有線 LAN のみの場合には wireless のチェックを外してもよろしいでしょう。



[次へ]ボタンをクリックします。

有線 LAN の設定画面が開きます。



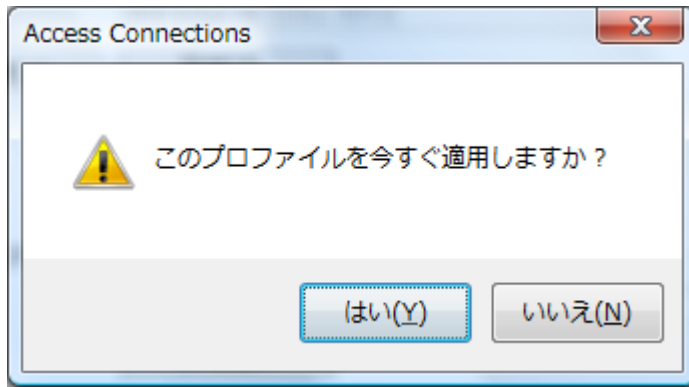
ネットワークセキュリティにチェックを入れ、「設定」をクリックして3項目ともチェックを入れて、戻ります。

次に、通常使うプリンタの指定にチェックを入れて、登録されているプリンターが表示されていると思われるので、その中から既定の標準プリンターを指定します。

TCP/IP および DNS のデフォルトの指定変更では、「設定」の中を変更する必要はないでしょう。

ホームページの指定変更は、指定してもしなくてもどちらでも構いません。ブラウザが起動したとき、自動的に開いて欲しいホームページ(例えば Google の検索サイトなど)があれば、指定してください。

[完了]ボタンをクリックすると、次の画面がでますので、「はい」を選択すると接続が開始されます。



以上、

以下余白